

▶ 特別会計

	国民健康保険	後期高齢者医療	下水道事業※	介護保険 (介護保険事業)	介護保険 (介護サービス事業)
歳入	23億7,381万1千円	4億5,968万3千円	8億983万5千円	19億6,136万4千円	795万円
歳出	23億6,509万7千円	4億5,708万6千円	8億633万4千円	18億8,491万4千円	724万6千円

※下水道事業については、令和5年4月から水道事業と同様に「独立採算制」を採っています

▶ 水道事業会計 [王寺町の水道事業は、皆さんがお支払いする水道料金によって運営する「独立採算制」を採っています]

	収益的収支…①	資本的収支…②
収入	6億3,542万8千円	5,344万5千円
支出	6億1,091万3千円	2億7,632万6千円

①水道事業等の経営活動により発生する収入（水道料金等）と、支出（県水受水費等）②施設の建設、改良などに関する収入と支出

水道の令和4年度業務状況

(給水戸数、給水人口は令和5年3月31日現在)

- ▶ 給水戸数 10,692戸
- ▶ 給水人口 23,946人
- ▶ 有収水量※ 2,373,636㎡
- ▶ 1日平均有収水量 6,503㎡

※有収水量は、料金の対象となった水量のことで、町民1人1日あたり平均0.27㎡を使用したことになります。

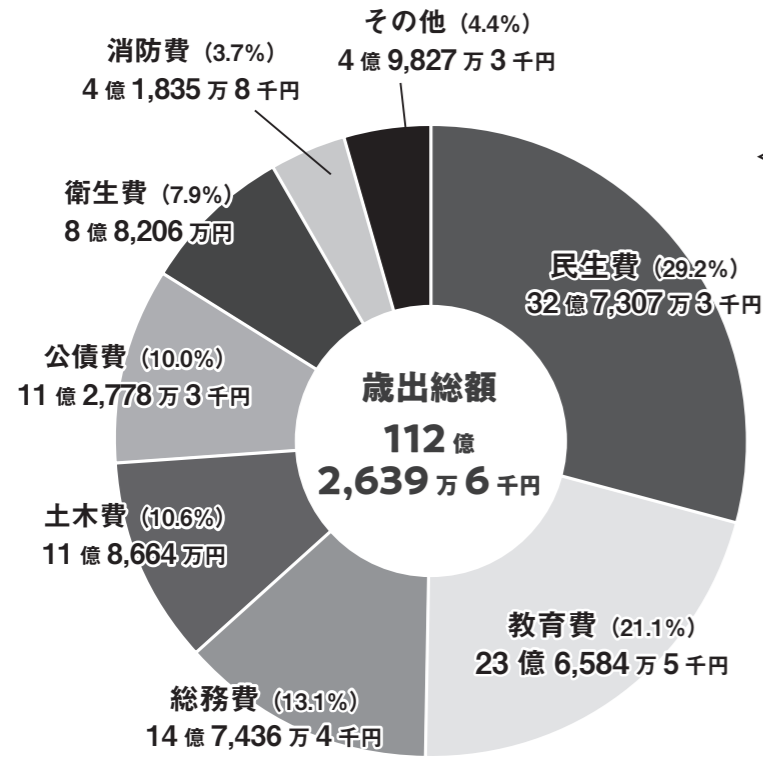
# 令和4年度 王寺町の 決算

一般会計は、歳入（収入）が117億2,924万1千円、歳出（支出）が112億2,639万6千円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、4億8,663万5千円の黒字決算となりました。

特に新型コロナウイルス感染症対策として、「ワクチンの接種」や国の経済対策である「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した「雪丸振興券」など、地域経済や住民生活を支援するための事業を地域の実情に応じて実施しました。

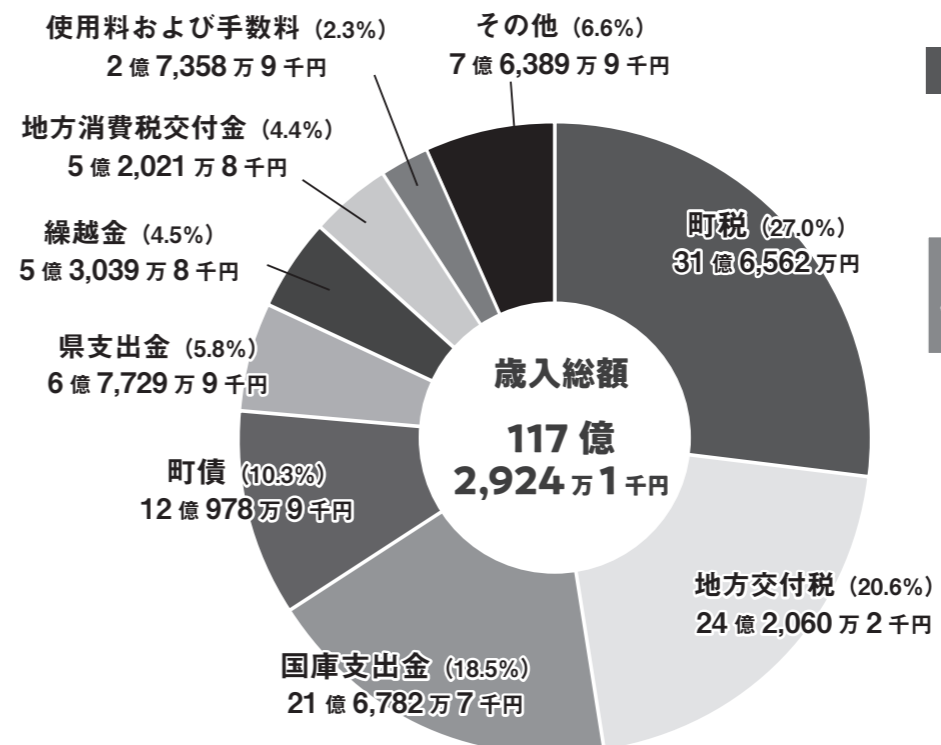
固出納室（内線153）

一般会計の歳出（支出）



新型コロナウイルス対策の主な内容	
民生費	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住民税非課税世帯等に対する電力等価格高騰緊急支援給付金…1億309万円</li> <li>●住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金…5,986万円</li> <li>●子育て世帯への生活支援特別給付金…3,679万円</li> </ul>
衛生費	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルスワクチン接種…2億1,683万円</li> <li>●水道料金（基本料金）減免…3,804万円</li> </ul>
農林 商工費	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雪丸振興券…7,469万円</li> <li>●サテライトオフィス等開設支援…4,200万円</li> </ul>
教育費	<ul style="list-style-type: none"> <li>●南公民館大ホール観覧席改修…4,947万円</li> <li>●公共施設のトイレ手洗器自動水栓化…384万円</li> </ul>

一般会計の歳入（収入）



町税の内訳	
固定資産税	36.9%
町民税	51.5%
都市計画税	5.2%
町たばこ税	4.9%
軽自動車税	1.5%

固定資産税 11億6,677万6千円  
町民税 16億3,165万3千円  
都市計画税 1億6,594万円  
町たばこ税 1億5,475万円  
軽自動車税 4,650万1千円

令和4年度の主な事業の成果

- 住民に開かれ自立するまちづくり**
  - 納税者の利便性向上を図るため、全国のコンビニエンスストアやスマートフォン決済アプリの利用により、町税などを納付できるように対応しました。また、公共施設窓口にてクレジットカードやQRコード決済などが使える、キャッシュレス決済サービスを令和4年12月に開始しました。
- 快適で暮らしやすいまちづくり**
  - 分別収集推進のため、令和4年4月に「資源ごみ回収ステーション」を町内4か所に設置しました。
  - 利便性向上のため、老朽化が進んでいた畠田公園の公衆トイレを、頂いた寄付を基に洋式化するなど、リニューアル工事を行いました。
- 安全で安心して暮らせるまちづくり**
  - 河川の水位上昇による床上・床下浸水等の内水被害を防ぐため、葛下3丁目地内に、大雨時に一時的に水を貯める貯留池の整備を継続しています。
  - 地域の水害リスクを認識し防災意識向上をはかるため、昭和57年水害の浸水深と千年に一度レベルの大雨による大和川決壊を想定した最大浸水深の表示看板を、久度・王寺地区内6か所に設置しました。また、子どもたちを対象に「マンガで伝える57水害」を作成しました。
- 健やかに暮らせるまちづくり**
  - ひとり暮らしの高齢者が在宅中に急病などにより動くことが困難となった際に、緊急事態を知らせる「緊急通報装置貸与事業」を継続して実施しています。令和4年度からは、見守り体制の強化を目的に、人の動きが一定時間なかった場合に自動通報するセンサーを希望者に対し、追加貸与する取り組みを開始しました。
  - 高齢者のフレイル（加齢により心身が老い衰えた状態のこと）予防を目的とした「保健事業と介護予防の一体的な取組」として、健康寿命の延伸を図るための身近な場所で「健康」について考える健康教室を実施しました。また、75歳以上のリスクのある高齢者に対し、保健指導および医療機関への受診勧奨を行いました。
- 人を育みみんなが学べるまちづくり**
  - 産後間もない母子が、安心して子育てできるよう支援する「産後ケア事業」について、既存のショートステイ（宿泊型）やデイケア（通所型）に加え、新たにアウトリーチ型（訪問型）のサービスを開始しました。このことにより、助産院への滞在が困難な親子も、安心して子育てができる支援体制の充実を図りました。
  - 園児たちが給食を通して、食べ物への興味・関心を持ち、自ら進んで食べようとする気持ちを育むため、令和4年4月から町立幼稚園での給食を実施しました。また、新たな学校給食センターにより、食物アレルギー対応をはじめ、安全安心な給食を提供しました。
- 活力とにぎわいのあるまちづくり**
  - 11月に「王寺ミルキークワイ2022」を開催し、3年ぶりに会場での飲食を再開しました。また、花火の打ち上げもあり、多くの来場者でにぎわいました。
  - 多様な働き方ができる環境を整えるためテレワーク施設の誘致を行い、12月に民間会社が運営する「Oort Terrace（オーテラス）」がオープンしました。